

日本泌尿器科学会 会員各位
日本泌尿器内視鏡学会 会員各位

2020年4月に、ロボット支援腎形成術およびロボット支援仙骨膣固定術が保険適用となりました。厚労省からは、当該学会はこれらの新術式が安全に導入されるように取り組むことが求められています。このため、日本泌尿器科学会および日本泌尿器内視鏡学会では、以下の登録制度を構築することといたしました。

ロボット支援腎盂形成術では、泌尿器科 NCD 内に治療成績を後向きに登録する制度を構築中です。これは、2018年に保険適用となったロボット支援膀胱全摘除術と同様の登録制度で、近々リリースされる予定です。リリースされましたら、両学会から改めて連絡いたしますので、登録をお願いいたします。

ロボット支援仙骨膣固定術も、今後同様のシステムを構築する予定です。したがって、このシステムが完成するまではデータ入力する必要はございません。なお、婦人科医が行うロボット支援仙骨膣固定術については、日本内視鏡外科学会 NCD 内に作成された前向き登録システムに入力する必要がありますが、泌尿器科医が行う同術式についてはこの前向き登録制度に入力する必要はございませんので、ご注意ください。

2020年8月26日

日本泌尿器科学会	理事長	大家基嗣
NCD 運営委員会	委員長	賀本敏行
日本泌尿器内視鏡学会	理事長	藤澤正人
ロボット支援手術委員会	委員長	武中 篤